NEWS RELEASE

2026年10月15日
株式会社エフピコ

# エフピコ・両備ストア「エコストア協働宣言」を発表

## ～2027年3月期にCO2排出量削減　年間80tを目標～

株式会社エフピコ（本社：東京都新宿区、代表取締役会長：佐藤　守正、以下「エフピコ」）は、両備ホールディングス株式会社 両備ストアカンパニー（本社：岡山県岡山市、執行役員カンパニー長：菊池 毅、以下「両備ストア」）と協働し、持続可能な循環型社会の推進を目的とした「エコストア協働宣言」を発表いたします。本宣言は、両備ストアの全14店舗において、お店を発着点とする水平リサイクル（※1）「ストアtoストア」の取り組みを強化し、さらなる環境負荷低減を図るものです。




■宣言前後で継続する取り組み

両備ストアは、環境負荷低減に向けた取り組みとして、店頭の回収ボックスにて使用済み食品トレーの回収を実施しており、2026年3月期の食品トレー回収量は13.7tとなりました。また、回収資源から再生されたエフピコのエコ製品（※2）を売場で使用することで、2026年3月期において、66tのCO2排出量削減に貢献しました。

■宣言により強化する取り組み

今回の宣言に先立ち、両備ストアでは昨年5月より下記の取り組みを開始しております。

**1.　トレー回収後のリサイクルを「エフピコ」へ一本化し、水平リサイクルへ**

2025年6月より、両備ストア各店舗における使用済み食品トレー回収後のリサイクルをエフピコへ一本化いたしました。回収されたトレーはエフピコでエコ製品へと生まれ変わり、再び両備ストアの店舗で使用することで、お店をリサイクルの発着点とする「ストアtoストア」の水平リサイクルを実現します。

**2. 汎用トレーをエコ製品へ切り替え、CO2排出量削減を拡大**

2025年5月より、両備ストアの売り場で使用している汎用トレーを、回収資源から作られた「エコトレー」へと切り替えました。エコ製品の使用範囲を大幅に拡大することで、CO2排出量のさらなる削減を実現します。

この度の協働強化に伴い、両備ストアはエコ製品をさらに使用することで、2027年3月期において、「年間80t」のCO2排出量削減を目標に取り組みを行ってまいります。

エフピコ及び両備ストアは、本取り組みを通じて地域の皆さまと共に地球資源の循環を推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

---

(※1)水平リサイクル:リサイクルの前後で用途を変えずに資源を循環させるリサイクル方法
(※2)エコ製品:回収された資源を原料とする「エコトレー」、「エコAPET」、「エコOPET」

【ご参考】
<株式会社エフピコ>
スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどで使用される簡易食品容器を製造販売する国内最大手メーカーです。エフピコ方式のリサイクル「トレーtoトレー」「ボトルto透明容器」による地上資源の循環、及びCO2排出量削減、環境負荷の低い容器の開発による省資源化などを通じて、持続可能な社会の実現を目指しています。
所在地:〒163-6037 東京都新宿区西新宿6丁目8番1号新宿オークタワー37階
代表者:代表取締役会長 佐藤 守正/代表取締役社長 安田 和之
設 立:1962年7月
H P:https://www.fpco.jp/
【リサイクル特設ページ】エフピコ みんなでリサイクル

<両備ホールディングス株式会社 両備ストアカンパニー>
両備ストアは岡山県内に14店舗を展開する、地元密着型のスーパーマーケットです。大型店舗である「リョービプラッツ」、中型店舗の「パークス」、都市型小型店舗の「森のマルシェ」「フレッシュマルシェ」の4ブランドを運営しております。
厳選した素材を使ったこだわりの名物づくりへの取り組みや、鮮度と味にこだわった、安心・安全の商品でお客様へ感動をお届け出来る様、日々様々なサービスを追求しております。
所在地:〒701-0221 岡山県岡山市南区藤田650-6
代表者:執行役員カンパニー長 菊池 毅
H P:https://ryobi-store.jp/company/

以 上

【本リリースに対するお問い合わせ先】
■株式会社エフピコ リサイクル推進部 TEL:03-5325-7559 FAX:03-5325-7767